

※一部非公開

平成31年度
沖縄県立看護大学
一般選抜（後期）試験問題

出題の意図

看護職者は、自らの自己研鑽により、能力を高めることが求められていると同時に、患者や家族の痛みや苦しみに気づき、配慮できることが重要な基本的資質である。本学の入学者にはこれらの資質が求められている。昨今の医療の現場において陰惨な事件が頻発しており、医療者には高い倫理観が求められる。社会で起こっている事件に関心を示し、人権を尊重し、人の痛みや苦しみに寄り添いケアができる人材が求められている。本試験問題の題材となる文章は「利他的に生きる」ことに言及したものであり、現在の医療現場を取り巻く問題に通ずる内容となっている。この文章に基づいて設問し、読解力、論理的思考力、記述力、倫理観を問う。

【問題】 次の文章を読んで設問に答えなさい。

※非公開

（鎌田實著、『1%の力』、河出書房新社、2014年、より改編）

【設問 1】

「利己的な生き方」と「利他的な生き方」の違いについて、200 字以内で説明しなさい。

【設問 2】

学校、職場、地域において、他人の尊厳を傷つけることが起こっている。「利他的に生きる」ことの必要性について、次の語句を用いて 700 字以内で述べなさい。

「生命」、「健康」、「幸福」、「ストレス」、「生活の質」